

コープで
広がる、
つながる

ペットボトルのキャップを集めて 世界の子どもたちへワクチンを

▶ ペットボトルキャップが子どもたちへの支援につながります

宅配や店舗で回収しているペットボトルのキャップ。ワクチンとなって、世界の子どもたちに届けられていることをご存じでしたか？コープみらいは組合員の皆さんから集めたキャップをリサイクル資源として売却し、その利益を「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」(JCV)へ寄付しています。

ワクチンがないために感染症で命を落としてしまう子どもは、1日あたり約4,000人。寄付金はそのような子どもたちが多くいるミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツへ届けられ、ワクチンやワクチンを届けるための関連物資を贈る活動に役立てられています。



支援によるワクチンで元気に育ち、笑顔を見せるブータンの子どもたち

キャップがワクチンにかわるまで(ブータンでの支援の場合)



皆さんから集めたペットボトルキャップはコープのリサイクル施設に集め、リサイクル資源として売却します。



売却益をJCVに寄付します。JCVはユニセフと連携し、世界のワクチン工場へワクチンを発注します。



製造されたワクチンは、冷凍のまま空輸でブータンへ届けられます。



ワクチンを各地の予防接種会場に運び、子どもたちに接種します。

医薬品であるワクチンは、製造から接種の瞬間まで冷蔵・冷凍された状態で管理する必要があります。しかしヒマラヤ山脈南麓に位置するブータンは標高差が激しく、ワクチンの運搬に徒歩で10日もかかる所もあります。JCVではワクチンだけでなく、注射器やワクチンを届けるための保冷庫などの関連物資も支援しています。



キャップ回収にご協力ください

この取り組みは、組合員の「キャップを回収してワクチンにつなげてほしい」という声から始まりました。2012年から2018年3月までに集めたキャップは累計で約2億7千万個(重量からの換算値)。その売却益約688万円(コープデリグループ合計)をJCVへ寄付しています。

子どもたちの未来のために、これからも皆さまのご協力をお願いいたします。

キャップの回収方法

回収できるもの

- ペットボトルのキャップ
- キャップ付き飲料紙パックのキャップ



—— キャップとペットボトルを分けてお出しく下さい ——

<宅配>

商品お届け用のポリ袋に入れ、こぼれないように袋の口を縛って担当者にお渡しください。



<店舗>

店頭の回収ボックスに入れてください。(袋などには入れないでください)

